

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風

〒669-1515 三田市大原 1546-5

(TEL)079-564-0909

障害福祉サービス (多機能型)

(FAX)079-564-8500

三田わくわく村

(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

利用者の皆さんの安全を第一に！！



—三田わくわく村は新型コロナウイルス感染防止に取り組んでいます。— (奥副施設長)

2019年11月22日『いい夫婦の日』に、中国武漢市で原因不明のウイルス性肺炎として最初の症例が確認されました。以降、中国大陸から全世界(5月末:187カ国、地域)に拡大し、日本では2020年1月16日に最初の感染者を確認、以後拡がりを見せ、2月27日にスポーツやイベントなどの中止や延期、規模の縮小、3月2日に学校関係の斉休校、そして3月25日には念願の東京オリンピックが延期となり、遂に4月7日、東京都など1都1府5県に我が国初となる「緊急事態宣言」が発出し、4月16日に対象地域を全国に拡大する未曾有の事態となりました。

わくわく村でも、入所式や歓迎お花見会、外出レクリエーション、ゴールデンウィークの特別開所等を中止したほか、利用者さんが最も楽しみにしている一泊研修やわくわく秋祭り(旧:納涼大会)も断腸の思いで中止とさせて頂きました。

支援現場では、利用自粛の方が最大で半数(120名の利用者に対して55名)近くになりました。しかし、自粛中の生活リズムの乱れや作業スキルの低下などが危惧されるため、スムーズに利用再開ができるよう、規則正しい生活リズムの継続や家事手伝いによる自立度の向上、作業課題や自立課題が取り組めるように、在宅支援を依頼させて頂きました。その結果、4月には利用率が初めて78%まで落ち込みましたが、在宅支援を実施したことで5月は86%まで回復することができました。

現在はほぼコロナ以前の利用率に戻り、新しい生活様式へ移行し、感染予防を行いながら日中活動に取り組んでいます。

【三田わくわく村が進める新しい生活様式の例】

- ★一人ひとりの基本的感染対策
 - ・手洗い・アルコール消毒
 - ・マスクの着用
 - ・身体的距離(ソーシャルディスタンス)の確保
- ★日中活動を営む上での基本的な生活様式
 - ・定期的な換気、施設内や送迎車の消毒
 - ・毎朝の体温測定、健康チェック、3密の回避
 - ・外出レクなどは人ごみや感染がみられる地域への移動は避け、買い物や長時間の室内見学は避ける



朝登所後すぐの検温



アルコール消毒



手洗いうがい

マスク着用



適度な距離を保ちましょう



各机1人ずつ向かい合わせにならない様に食事をしています。

利用者・保護者・関係者の皆様へ (お礼と感謝)

(長田施設長)

緊急事態宣言が解除され、以前の社会生活に戻すために段階的な取り組みが行われています。しかし、ワクチンや治療薬がない中で、新しい生活様式の実践を余儀なくされており、利用者や保護者の皆様方には、戸惑いや不便を強いていると思いますが、ご理解とご支援をお願いします。

今私たちは今回の事態を振り返り、障害者支援は、人と人との信頼と尊厳の「絆の密」で成り立っているという基本に立ち返りたいと思います。新型コロナという不安感のもとに、一方的な不信とつながりの分断による三密回避からは、その人らしい自立に向けた支援は、何も生まれないと確信しています。私たちは保護者会との連携のもとに、正しい知識と警戒心、適切な支援行動を心掛けて、これからも、利用者様との繋がりは壊さない、繋がりが合っ

てご利用して頂けるよう、なお一層努力してまいります。最後に、私たちは社会的な使命を果たすため、不安と恐怖のコロナ禍においても、一日も休所することなく業務を継続してまいりました。利用者・保護者・関係者の皆様はもとより、黙々と業務に精進してくれた素晴らしい職員たちにお礼と感謝を申し上げます。

また現下厳しき折に、マスク等を寄付頂いた関係者の方々に重ねてお礼を申し上げます。

●古川様 ●(株)北神タイヤ様 ●(株)JICウエスト様 ●ベルタチブキ様 ●三田市連合婦人会様

ポストコロナ社会における 社会福祉法人風後援会令和2年度の取組について



令和2年度がスタートして早3か月が過ぎました。年明けから、新型コロナウイルス感染拡大により様々な面で自粛が続いています。ようやく緊急事態宣言も解除になり人の行き来も少しずつ始まっていますが、一部の地域では新たな感染者が発生するなど終息の兆しが見えていません。

風後援会では定期総会が書面決議となりましたので、6月29日役員会を開催し、こうしたポストコロナ社会の中での後援会活動について話し合いが行われました。

中でも、障害者理解啓発活動は多くの地域住民の皆さんとのふれあいや交流によるものですが、わくわく村の納涼大会の中止や、地域においても人が集まる催しは中止となっており、またバザーについても全市的な催しも今後どうなるのかも未定で、例年通りの活動は困難な状況にあります。

こうしたことから、今年度は会員拡大の取組を重点的に進めると共に、来年度の活動に向けた準備やポストコロナ社会における活動の見直しなどに取り組んでまいります。

特に後援会のご入会につきましては、例年同様学校関係や各団体の皆さんのご入会をはじめ、昨年からお願ひしています賛助会員のご入会にも精力的に取り組んでまいります。

引き続き、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに向けて、風後援会の輪がさらに広がりますよう皆様の温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。



6月25日 本年度初めての役員会を大原事業所会議室で開催しました。

令和元年度決算について 法人単位事業活動計算書

単位：千円 法人単位貸借対照表（令和2年3月31日現在）

単位：千円

勘定科目	金額	資産の部	負債の部
就労支援事業収益(a)	13,637	流動資産	流動負債
就労支援事業費用(b)	13,622	固定資産	固定負債
就労支援事業増減差額	15	(内基本財産)	基本金
サービス活動収益計(含,a)	290,380	(内その他の固定資産)	国庫補助金等特別積立金
サービス活動費用計(含,b)	266,416		その他の積立金
サービス活動増減差額	23,964		次期繰越活動増減差額
サービス活動外増減差額	265		(内当期活動増減差額)
経常増減差額	24,229	資産の部合計	負債及び純資産の部合計
特別増減差額	1,200		
当期活動増減差額	25,429		
前期繰越活動増減差額	288,220		
当期末繰越活動増減差額	313,649		
その他の積立金積立額	90,000		
次期繰越活動増減差額	223,649		

NHKのあさイチでの放送(6月24日)

生活介護の増金望美さんがコロナの特集に応募され放送がありました。



朝、登所後の職員との会話



畑の野菜が収穫できてきましたが、施設の利用者さんはまだ「わくわく村」に來れないので寂しいです。

放送内容

これからの予定

一泊研修旅行

長時間移動や宿泊による3密回避が困難なため中止

秋祭り(9/18)

(旧納涼大会)

飲食不可及び3密回避が困難なため中止

ボランティア募集中

わくわく村では、利用者さんと一緒に活動して下さるボランティアさんを募集しております。

大原事業所・志手原事業所・本町事業所・すすかけ台事業所の4施設、それぞれに特徴があり日中活動も様々です。利用者さんと一緒に身体を動かしたり、作業を一緒にして下さる方は是非ご連絡下さい。昼食は美味しい野菜たっぷりの給食を皆さんと一緒に召し上がりいただけます。見学の希望も随時受け付けております。

風後援会からご入会のお願い

社会福祉法人風後援会は、知的障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会(ご寄付)により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今年度より事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いいたします。

個人年会費 10,000円
事業所等賛助会費 10,000円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店	普通 391-3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所	普通 395-3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です

【お問い合わせ】

「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内

〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5

☎079-564-0909